

令和4年度 第1回
広尾町高齢者保健福祉計画・広尾町介護保険事業計画運営推進委員会会議録

開催日時 令和4年9月1日（木）午後2時～
開催場所 広尾町コミュニティセンター2階 大ホール
出席委員 軍司勝裕委員長、梶村秀実副委員長、高坂光則委員、原田脩委員、
田村久男委員、城山美津枝委員、藤井睦美委員、中川サエ委員 8名出席
欠席委員 武藤敏行委員
事務局 村瀬町長、宝泉保健福祉課長、金石特別養護老人ホーム所長、
保坂健康管理センター長、村上地域包括支援センター長、
三浦健康管理センター次長、佐藤在宅支援係長、本多福祉係長、
木本介護保険係長

～会 議 録～

司会：宝泉保健福祉課長

1 委嘱状交付

村瀬町長から各委員へ委嘱状交付。

2 町長挨拶

任期の間、皆様方にご苦勞をお掛けしますが、よろしくお願ひ申し上げたいと思います。計画は高齢者が広尾町でいきいきと暮らしていくための計画でございます。計画をどうやって実行していくかが大事でありまして、委員の皆様方にしっかりと検証していただき、ご意見をいただいて計画が実行できるようにそんな体制を進めていければと思っております。

また、皆様方にご報告であります。特別養護老人ホームが、非常に老朽化が進んでおりまして、町の計画、長期計画にも建替えが載っておりますが、役場の中で建替えについて検討委員会を立ち上げてやっているとあります。場所、規模、定員等、総合的なことを検討しているところであります。まとめ次第、皆様方に報告させていただければと思っております。

3 委員長・副委員長選任

委員の中から委員長に軍司委員が選出された。

（ここから議事進行は軍司委員長、委員長挨拶）

大事な計画等々でございますので、皆様方委員のご協力をいただきながら務めさせていただきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願ひいたします。

委員の中から副委員長に梶村委員が選出された。

4 議題

（1）審議事項

- ・第8期広尾町高齢者保健福祉計画・広尾町介護保険事業計画（令和3年度）の実績について
保健福祉課職員より令和3年度の実績報告を議案資料に基づいて説明した。

出席委員からの意見・質問は次のとおり。

<原田委員>

コロナで、計画に対してなかなか実績が少ないということですが、その中でも特に緊急通報システムについては関係ないと思うのですが、今後広報ですとか、新聞折込みですとか、様々な努力をしていると思うのですが、より一層このサービスが受けられるように、努力をしていただきたいと思います。

<本多福祉係長>

広報紙での折込みは年に1回でございますので、今後回数を増やしたり、新聞折込みですとか、利用者が増えるように検討していきたいと考えます。

<梶村副委員長>

一生懸命勉強していきたい。前もって資料をある程度、見ておく必要があると感じました。

<高坂委員>

これだけ細かい事業をやっていることに対しては、すごく大変なことですが、私も含めてお年寄りをよろしく願いたいします。

<原田委員>

福祉サービスが充実していて本町の高齢者は幸せだなと聞いておりました。

議案20ページの見守り体制の関係ですが、道新ですとか郵便局ですとか見守りの事業者として契約されているわけですが、これも残念ながら実績から見て厳しい状況だなと思います。町内会での見守りなどはあるのでしょうか。民間の事業者だけだと思うのですが、町内会連合会の方と話し合う機会はあるのか。話し合う必要があるのかなと思いました。

<本多福祉係長>

こちらは民間事業者の活動ですが、町内会活動、町内会連合会との協議は把握していないのですが、協議していないのではないかと。見守りということで民生委員さんが行っているが、やはり町内会長さんが町内会のことを把握して、理解していると思うので、今後検討していきたい。

<原田委員>

同じ町内会の城山委員もみえているが、私たちの町内会はどこかの方にいるのか40件ほどになるので、ほぼ把握している。今後、町内会をうまく利用しながら見守りの方を推進していただければと思います。

<田村委員>

福祉関係のボランティアを一生懸命やらせていただいている。高齢者等との付き合いが多いので、その関係で委員と呼ばれたのかなと思います。これから勉強しますので、よろしく願います。

<城山委員>

原田委員と同じ町内会で年に1回会議があるときに、何かあったときに隣近所のお年寄りをお互いに助ける。6班に分かれているが、その中で皆似たような年齢なのでお互い様だと言いながら隣同士気に掛けている。

<藤井委員>

42ページの介護者の離職者対策のところ、気になったのですが、私も以前結婚する前は介護福祉士として働いていたが、女性が介護士として働いていると結婚なり出産なりでどうしても一度現場を離れなくてはいけなくて、そのあと働こうと思っても、子育て中であつたり、旦那さんの方のご家庭のこともあるので戻りたくても戻れない方が結構いらっ

しゃると思う。そういう方を対象に短時間でも働ければ働きたいと思っている方も少なからずいると思うので、広尾町の方もいないとは言い切れませんが、町民の方にも声を掛けるのもありかと思えます。

中学生、高校生などの授業の一環として、福祉体験と言いますか、コロナウイルス感染症で大人数で行くことはできないと思いますが、少しでも福祉の方に目を向けてもらおうという活動も今後あると良いなと思いました。

※当日、藤井委員の意見に対しまして、事務局から回答がありませんでしたので、追加で記載させていただきます

<事務局>

貴重なご意見ありがとうございます。現在、町として介護職員初任者研修の開催を社会福祉協議会に事業委託しまして、令和2年度に広尾高校の1年生4人、令和3年度に2年生3人の修了者を出しているところであります。しかしながら、介護者の離職者対策は本町にとって大きな課題となっております。今後、さらなる対策を講じていく上で、参考にさせていただきたいと思えます。

<中川委員>

役場の福祉課の対応は良いなと私は思っています。私は店をやっているのですが、利用者に困った方、どこに相談したらよいかわからない方が多い。そういうときに、お店でちょっとお話をしたときに、福祉課にといつたことを言ったら、すぐに対応をいただいているということを知っています。これから福祉の活動の重要性は高いとつくづく思います。ますます充実した福祉の活動をよろしく願いいたします。

<軍司委員長>

社会福祉協議会も本当に人が足りなくて、毎回のよう募集の手間を掛けているが、なかなか来てもらえない。専門の職員が来てくれない。都市型職員が多いですけれども。困っている現状である。社会福祉協議会も事業実施している団体でもありますので、もし何かございましたら助言指導をお願いいたします。

- ・第9期広尾町高齢者保健福祉計画・広尾町介護保険事業計画策定スケジュールについて
木本介護保険係長が説明。

(委員から質問・意見なし)

5 その他
なし